各位

会 社 名 AIAIグループ株式会社(コード番号 6557 東証グロース)

代表者名 代表取締役社長兼CEO 貞松 成

問合せ先 取締役CFO 戸田 貴夫

T E L 03-6284-1607

U R L https://aiai-group.co.jp/

## 特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し、並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第4四半期累計会計期間(2022年4月1日~2023年3月31日)において、下記のとおり特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行うことといたしました。また、2022年11月2日に公表しました業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

- 1. 特別損失の内容及び理由
- (1) 有形固定資産の減損処理による特別損失

当社の連結子会社であるAIAI Child Care株式会社が保有する一部の固定資産について、足下の事業環境を踏まえて回収可能性を検討した結果、減損処理を実施することとし、当該子会社における減損損失172百万円を連結決算において計上することといたしました。

(2) 貸倒引当金繰入額による特別損失

当社の連結子会社である株式会社CHaiLDへ行っている貸付金に関し、今後の事業環境の変化を踏まえて回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額51百万円を個別決算に計上することといたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額51百万円は連結財務諸表においては消去されることから、連結業績への影響はございません。

(3) 子会社株式評価損による特別損失

当社の連結子会社であるAIAI Life Care株式会社の業績及び今後の業績見通しを検討した結果、同社株式の実質価額が著しく低下したため、子会社株式評価損として180百万円を計上することといたしました。 なお、当該子会社株式評価損180百万円は連結財務諸表においては消去されるため、連結業績への影響はございません。

- (4) のれん償却額による特別損失
  - (3)の通りAIAI Life Care株式会社株式の評価損の計上したことから、当該子会社ののれんの一部償却を行うこととし、のれん償却額20百万円を連結決算において計上することといたしました。
- (5) 製品保証費用による特別損失

当社の連結子会社である株式会社 CHaiLD におきまして、一部サービスにおける追加保証提供のため、製品保証費用 11 百万円を連結決算において計上することといたしました。

## 2. 繰延税金資産の取崩しの内容及び理由

当社の連結子会社であるAIAI Life Care株式会社におきまして、今後の事業環境等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当該子会社における繰越税金資産を全額取り崩し、第4四半期累計会計期間に法人税等調整額20百万円を連結決算において計上することといたしました。

3. 2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10, 600	0	300	△350	△127. 72
今回発表予想 (B)	10, 800	80	400	△500	△178. 17
増減額(B-A)	200	80	100	△150	_
増減率(%)	1.8%		33. 3%	ĺ	_
(ご参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	11, 975	△440	461	116	42. 98

## (修正の理由)

2023年3月期の連結業績予想につきましては、認可保育施設の園児数が年度末にかけて想定より約1.4%高く推移したことに加え、認可保育施設の運営委託補助金等の年度末精算の影響もあり、売上高が前回発表を上回る見込みです。また、園児数の増加に伴う人員の追加配置等により人件費が約1.9%増となる見通しであることから、営業利益は80百万円を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを踏まえ当初予想を下回る見込みです。なお、当該減損損失によるキャッシュ・フローへの影響はありません。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う業績予想への影響について)

新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループの業績に与える影響は軽微であり、当第4四半期連結累計期間以降も軽微であるという仮定に基づき業績予想を修正しております。

しかしながら、本感染症の収束時期は不透明であり、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上